

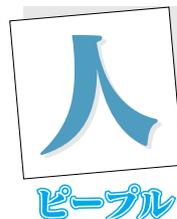
交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

牧場で働くことが夢です



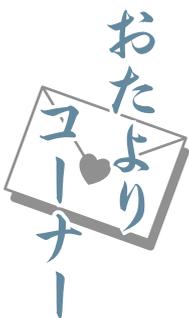
家畜審査技術大会で最優秀賞
林 千翔さん(16)
岩神町四丁目



先月二十四日、富士見村の県畜産試験場で開かれた、県学校農業クラブ連盟主催の平成十五年度家畜審査技術競技大会・乳牛の部で最優秀賞に選ばれた。これは四頭のホルスタインを比較観察し、搾乳牛の良さを見分

ける技術を競う大会。畜産を学ぶ高校生が、日ごろの学習成果を発揮し実力を養うため、毎年開催されている。
「勢多農林高の代表で昨年に続き出場しました。自分では前回、優秀賞をいただいたときと同じくらいしかできなかったと思っていたから、まさか一位になるなんて」
現在、同校動物科学科に学ぶ二年生。子どものころからペットが好きで、今は犬とウサギを家で飼っている。
「中一のとき、下仁田町の神津牧場へ行って牛や羊と直接触れ合ったことが、動物について

学ぶきっかけになりました。学校では、農場実習で乳牛や豚、ワトリの管理に取り組んでいました。飼料や干し草を混ぜて餌を作ってやるなど、大変なこともありますが、動物がかわいくて世話のしがいがありますね」
部活ではバスケットボール部に入り、放課後は週五日、体育館で汗を流している。
「将来は牧場で働くことが夢です。そのためにも、三年生からは乳牛を中心に勉強を進めていきたいと思っています」
目標に向けて努力を重ね、着実に歩んでいる。夢を実現させる日がきつと訪れるだろう。



いそとこころ とくまのために

元総社町・松尾直彦 30

広域消防本部で行われた応急手当て講習に参加しました。わたしは現在、一歳七カ月の男子の父親ですが、受講を決めた理由は、幼いわが子の予想もつかない日ごろの行動を見ているうちに、何があってもおかしく

ないと感じたからです。

講習では、出血したときの止血法をはじめ、骨折ややけど、おぼれた時の対処法などについて学び、最後に心肺そ生法を実習しました。これは人形を使い、参加者一人ずつが皆に囲まれ行うので、初めてのわたしには気が重かったです。

しかし、救急車が到着するまでに五、六分かかる。その間の応急処置の有無で生存率が大きく変わる」とのこと。自分がやらなければと思い、頑張ったパパですが、そのようなことにはお構いなしに息子は講習会場を遊び場にしていたの言つまでもありません。

まちなews のニュース



天川原町一丁目



交流目的に ゲートボール

天川原町一丁目自治会では六月二十九日、三世代交流ゲートボール大会が行われました。天川原町一・二丁目、文京町二丁目の各自治会合同で毎年行われ、今回は同自治会が当番。生涯学習センター軽スポーツ広場を会場に、百十人が参加しました。
町別の十二チームが四コースに分かれてプレー。上手な小学生もいれば、ぎこちない手つきのお父さんも。一回打つことに、笑いや歓声が上がりました。
天川原町一丁目自治会長の小川招弘さんは「ゲートボールは子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツ。勝敗よりも交流が大切です」と語っていました。